

科目名	ナレーションⅡ								年度	2025	
英語科目名	Narration Ⅱ								学期	後期	
学科・学年	声優・演劇科 2年次			必／選	選	時間数	40	単位数	1	種別※	実技
担当教員					教員の実務経験			実務経験の職種			
【科目の目的】 様々なジャンルのナレーション原稿を使って、状況に応じた読み方を実践する。観客に聞かせるリーディング公演を意識した朗読を実践する。											
【科目の概要】 ナレーションやドラマリーディングなどの原稿を用いて、声の表現力を学ぶ。											
【到達目標】 言葉を使って「伝えること」の難しさを知り、さらに自らの課題を見つけ常にチャレンジし続けることを習慣化させる。											
【授業の注意点】 授業態度（特に居眠りや私語）に関してはかなり厳しく対応する。また、連絡のない遅刻・欠席は認めない。 授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することはできない。											
評価基準＝ルーブリック											
ルーブリック 評価	レベル5	レベル4	レベル3	レベル2	レベル1						
	優れている	よい	ふつう	あと少し	要努力						
到達目標 A	マイク前で良い声で喋ることができる	良い声を作ることができる	大きな声が出せる	腹式呼吸ができる	腹式呼吸ができない						
到達目標 B	マイク前で聞き取りやすい発音で喋れる	聞き取りやすい発音で喋れる	標準語で話すことができる	アクセント辞典を理解して読むことができる	アクセント辞典を読んだことがない						
到達目標 C	誰に何を伝えたいか把握することができる	起承転結を把握することができる	漢字を理解し、台本を最後まで読むことができる	台本を最後まで読むことができる	台本を最後まで読むことができない						
到達目標 D	速度変化、抑揚、強調、間を使うことができる	抑揚をつけ、強調、間を使うことができる	適切な間を取ることができる	大切な言葉を強調して読むことができる	棒読みで喋る						
到達目標 E	タイムコードに合わせて喋ることができる	映像と台本を交互に見ることができる	タイムコードを確認することができる	映像をしっかりと見ることができる	映像を見られない						
【教科書】											

レジュメ・資料は必要に応じて配布。パソコン・タブレット・スマートフォンなどのモバイルツール、参考資料等は授業内で指示する。

【参考資料】

【成績の評価方法・評価基準】

小テストおよび期末テストにより採点。授業への積極性と参加態度を評価する。

※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。

科目名		ナレーションⅡ			年度	2025
英語表記		Narration Ⅱ			学期	後期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	情報番組 1		視聴者を想定	主な視聴者は誰なのか考える		
			文章を把握	伝えたい内容を把握する		
2	情報番組 2		映像を確認	映像の内容、タイムコードを確認する		
			テンションをあげる	テンションを上げて喋る		
3	情報番組 3		楽しく読む	楽しく聞こえるように喋る		
			録音して確認	録音した声が自分のイメージ通りか確認する		
4	キャラナレ 1		年齢を考える	キャラクターの年齢を考える		
			性格を考える	キャラクターの性格を考える		
			声質を考える	キャラクターの声を考える		
5	キャラナレ 2		声を作る	キャラクターの声で喋る		
			視聴者に向かって喋る	キャラクターの声で視聴者に向かって喋る		
			録音して確認	録音した声が自分のイメージ通りか確認する		
6	CMナレーション 1		ターゲットを考える	誰に向けたCMなのかを考える		
			役割を考える	CMの中でのナレーションの役割を考える		
7	CMナレーション 2		感情を作る	ナレーションに必要な感情を作る		
			聞き手を想定する	1 人に向かって喋る		
8	CMナレーション 3		自然な声で喋る	キャラクターを作らず、ナチュラルに喋る		
			録音して確認	録音した声が自分のイメージ通りか確認する		
9	ストレートナレーション 1		文章を理解する	文章を最後まで読む		
			伝えたい内容を把握	何を伝えたいのかを把握する		
10	ストレートナレーション 2		視聴者を想定	誰に伝えたいのか考える		
			音の高低を理解	声の高低差をしっかりとつけられるようにする		
			音の太さを理解	太い声、細い声を理解する		

